

田川会長と越智事務局長が登壇

観光庁とUNWTO共催

「観光と技術に関する国際会議」

観光庁が6月2日、国連世界観光機関（UNWTO）との共催により奈良で開催した「観光と技術に関する国際会議」で、JATAの田川博己会長と越智良典事務局長が登壇しました。



JATAとUNWTOの連携などを紹介した田川会長

この会議は、日本が昨年9月のUNWTO年次総会でUNWTO理事国となつてから初めて日本で開かれた本格的な国際会議で、海外25カ国を含む、国内外より400名が参加しました。6月3日に開催された「アジア太平洋地域合同会議」と合わせて、2日間にわたり活発な議論やブレインセッションが繰り返されています。日本の交通技術や観光関連のIT技術



ネット販売と店舗販売の両立に言及した越智事務局長

などの最先端技術を国内外に発信するとともに、同分野における異業種間の取り組み事例などを紹介し、技術革新が観光をどのように変えていくかが議論された。観光と技術に関する国際会議では、田川会長がツアーリズムEXPOジャパンや海外での各種国際会議などUNWTOと様々な形で連携事業に取り組んでいることを紹介したほか、人的交流の拡大やテクノロジーと旅行との関わりなどについて語りました。また、3つのテーマで開かれたセッションのうち、「観光地における新たな技術利用の可能性と課題」をテーマに掲げたセッション2には、越智事務局長が登壇。「ハイブリッ

ドエージェンツ」日本の旅行会社が目指すもの」と題して講演した越智事務局長は、ネット販売と店舗販売を両立させたビジネスモデルの事例や、スマートグラスを活用した顧客の「スマートツアーリズム」の提案など、「ハイブリッド化」を目指しつつ、その部を実現している日本の事例を紹介しました。

3日に開催された「アジア太平洋地域

第1回世界観光開発会議開催

また、田川会長は5月19日、中国、北京の人民大会堂で開かれた中国政府と国連世界観光機関（UNWTO）の共催による第1回世界観光開発会議で講演し、「交流の力」で相互理解を促進し、「旅の力」で世界平和に貢献することの重要性を訴えました。

この会議は、昨年9月にニューヨークで開催された国連サミットで、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）に代わる「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を受けて開催されたもので、100カ国以上から約1000人が参加。開会式で登壇した中国の李克強首相は、中国が観光戦略を強化して「観光最強国」を目指していることを説明すると同時に、中国人の海外旅行者が増加することを通じて、今後、各国で中国人旅行者による消費効果が高まることを強調しています。会議では、「観光と貧困撲滅」と「観光と平和」という2つのテーマでセッションが開催

合同会議」では、東アジアや南アジアの各国代表、UNWTOの賛助会員が参加して、様々なテーマで発表が行われています。JATAはこの会議で、「交流大国」を掲げて展開しているJATAの活動を国内外にアピールすると同時に、UNWTOをはじめ国内外の観光関係者らと交流を深め、ネットワークの更なる強化を図りました。

され、田川会長は「観光と平和」のセッションで登壇。「旅の力」が5つの要素から構成されており、現在の世界では、特に「交流の力」が重要であると指摘し、JATAが昨年、日本から中国へ3000人、インドネシアへ1000人の大交流団を送り、二国間交流の進展に寄与するなど、民間交流が大きな役割を果たすことを説明しました。

田川会長は、さらに、今年4月に発生した熊本地震への各国からのお見舞いに謝意を示し、被害が限定的で、九州北部や南部地区への継続的な旅行者の訪問への期待を表明しています。

また、会議では、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で、開発目標として各国が2030年までに観光業の促進に向けた政策を立案し、実施することなどが明記されていることを踏まえ、今後の各国での取り組みの方向性などについて記した「北京宣言」も採択されました。

静岡市でJATAインバウンド商談会 自治体、観光業者など51団体参加

JATAは5月30日、静岡市の静岡県コンベンションアーツセンターで、第3回JATAインバウンド商談会を開催しました。商談会には、静岡県内の自治体や観光協会、観光事業者、JATA会員など約130人が参加し、講演会でのプレゼンテーションに耳を傾けたり、個別商談会で熱心にビジネストークを行うなど、積極的にプログラムに取り組みました。

講演会の第1部では、日本政府観光局（JNTO）の山崎道徳理事が「明日の日本を支える観光を目指して」と題して、(1)人口減少・少子高齢化、(2)世界の観光動向と観光立国の意義、(3)明日の日本を支える観光ビジョン構想会議、(4)平成28年度プロモーション方針、などに言及。第2部では、



個別商談会では合計 385 のセッションが行われました

静岡県東部地域コンベンションビューロー、美しい伊豆創造センター、大井川で逢いましょう実行委員会、浜松観光コンベンションビューローの代表らが、静岡県内各エリアについてプレゼンテーションを実施し、JATA会員各社の社員が様々な角度から質問を行いました。

第3部の個別商談会には、JATA会員の旅行会社12社37人と自治体観光事業者41団体51人が参加し、35テーブル11枠で合計385のセッションが行われています。

商談会に参加したJATA会員からは、「地域ごとの新しいコンテンツを数多く収集できた」「旅行素材と訪日外国人受入状況の確認ができた」「どこの国に力を入れているか、セールスポイントが何かなどが分かり、役に立った」などの声が寄せられました。

また、自治体観光事業者は、「旅行会社の1社当たりの人数も多く良かった」「プレゼンテーションは、各地域の取り組みなどを知ることができ、参考になった」と評価しています。

さらに、自治体観光事業者に「地域における訪日外国人拡大に向けて有効と思われる施策」について聞いたところ、「海外の旅行会社を招聘しての新商品造成のための

現地視察団の受け入れ」が24%で最も多く、「国内の旅行会社と地域観光施設との商



需要回復に向け魅力をアピール 「食とアートと元気なフランスフェスタ」

JATAは6月3日、東京丸の内丸ビルで「食とアートと元気なフランスフェスタ」フランスを見て、体験して、味わう1日を開催しました。

これは、『VISIT FRANCE』フランス行こうキャンペーンの環として実施されたイベントで、昨年11月にパリで発生した同時多発テロ事件以降、日本人旅行者数の減少が続いているフランスへの観光需要の早期回復を目指すとともに、旅行相談や旅行商品の提案など、新規顧客開拓につなげることを目指したものです。

丸ビル1階のマルキユーブでパティシエの鎧塚俊彦氏と料理評論家の山本益博氏によるトークショーや、テレビ番組「情熱大陸」でも紹介された花絵師藤川靖彦氏のインフィラアートを産み出した、さとうたけし氏のライブペインティングのほか、旅行会社による「フランス旅行相談会」も実施されました。

さらに、丸ビルホール&コンファレンススクエアでフランス文化フォーラムも開催され、第1部では、2013年フランス観光親善大

談会」(21%)、「海外の旅行博等への出展・商談会参加」(16%)などが続きました。

使も務めたパティシエの鎧塚氏が、世界的に人気の高いフランス料理やスイーツなど、フランスの食文化の魅力について、自身の活動を交えながら紹介。第2部では、2014年フランス農業功労賞を受賞した料理評論家の山本氏が、1973年に初めてフランスを訪問してから200回以上も訪仏したという自身の40年を振り返りながら、フランス料理の未来を展望する講演を行うなど、食をテーマにした濃密なフランスの魅力を発信しています。



料理評論家の山本氏 (中央) とパティシエの鎧塚氏 (右) によるトークショー

相互交流600万人へ拡大検討会議を設置 台湾・宜蘭県で第9回日台観光サミット開催

第9回日台観光サミットが5月19日から22日までの4日間にわたり、台湾の宜蘭県で開催されました。

JATAと日本観光振興協会(日観振)、台湾観光協会の三者が主催する同サミットの今年のテーマは「日台相互交流の現状の確認と日台双方の観光魅力の再発見」で、日本からはJATAの丸尾和明副会長、日観振の山口範雄会長、香川県の日田恵造知事、愛媛県の中村時広知事、旅行会社関係者36人など116人、台湾側からは139人が参加しています。

20日のサミット会合では、JNTOの小堀守理事と台湾交通部観光局東京事務所の江明清所長が日台双方の観光の現状



日台観光サミットで勢ぞろいした関係者ら

に関する報告を行い、意見交換会では、エイチアイエスの平林朗社長が台湾の潜在需要について、JTBグローバルマーケティング&トラベルの座間久徳社長が日本の潜在需要について、東武トップツアーズの坂巻伸昭社長がリピーター対策について発言。

議長総括では、日台双方が相互交流600万人を早期に実現するため、新たに「双方向交流拡大検討会議」を設けて、2020年の日台間における双方向交流のビジョン策定を行うことが確認されました。また、鉄道など共通の観光資源を活用した交流をさらに促進すると同時に、日台の食の魅力に関する発信を強化することにも言及されています。

10回目となる日台観光サミットは、2017年に四国で開催される予定です。

北海道支部

- 6月1日 海外旅行地域セミナー(函館)
- 6月2日 国際航空運賃セミナー(基礎)
- 6月22日 海外旅行地域セミナー(釧路)
- 6月23日 海外旅行地域セミナー(帯広)



ウトナイ湖での環境保全活動

6月25日 環境保全活動(外来植物駆除)をウトナイ湖で実施

東北支部

- 6月16日 第2回幹事会
- 7月7日 インバウンド委員会

関東支部

- 6月7日 海外旅行委員会
- 6月15日 LADY JATA委員会
- 6月17日 幹事会
- 6月24日 インバウンド委員会
- 6月27日 国内旅行委員会

中部支部

- 6月7日 中部国際空港CIQ研修
- 6月9日 OFC JATA共催による国際航空運賃セミナー
- 6月13日 支部幹事会
- 6月25日～29日 ベトナム航空によるベトナム研修

関西支部



「関空旅博2016」のブース風景

6月3日 関空旅博2016プレイベント「セミナー&ワークショップ」を開催。政府観光局23団体が出展し、会員各社181人が参加

6月4日～5日 「関空旅博2016」開催。ブース出展し、セミナー・学生連携ツアー企画コンテストを実施

中四国支部

- 6月23日 消費者相談委員会
- 6月2日 広島空港CIQ研修(46人参加)
- 6月3日 第1回幹事会・香川地区意見交換会(高松)
- 6月8日 中国国際航空(CA)大連・旅順研修旅行(11人参加)

九州支部

- 6月5日 寺子屋JATA①
- 6月7日 第1回幹事会
- 6月10日 CIQ研修
- 6月11日 寺子屋JATA②
- 6月15日 海外旅行委員会
- 6月16日 国際航空運賃セミナー
- 6月17日 総務委員会
- 6月22日 消費者相談委員会
- 6月23日 実務委員会
- 6月27日 国内旅行委員会

沖縄支部

- 6月2日 総務委員会
- 6月22日 教育旅行委員会
- 6月24日 幹事会